

事業の背景・目的

分布が局所的である高山植物は気候変動やニホンジカの食害等の危機に常にさらされており、域外保全が不可欠である。本事業では、高山植物の栽培環境を有する白馬五竜高山植物園を活用して様々な条件下で絶滅危惧植物の栽培、生息域外保全を行うとともに、最適な栽培手法を確立し個体数増加につなげることを目的とする。また絶滅危惧動物の域外保全を目的とした食草の栽培を行う。得られた知見を活用し、植物の安定した栽培を継続すると共に、普及啓発活動を行う。

事業の内容

事業① 栽培増殖事業

- ・ヒゲナガコメススキ、センジョウスゲの栽培
- ・フサヒゲルリカミキリ、タカネヒカゲの食草栽培



事業② 栽培施設整備事業

- ・植物園への植栽区画の設置
- ・栽培圃場への計測機器の設置



事業③ 技術交流・連携事業

- ・昆虫館（足立区生物園・伊丹市昆虫館）東京大学との飼育手法、食草供給の技術交流



得られた成果

- ・ヒゲナガコメススキ、センジョウスゲの育苗作業の開始（播種・株分け）
- ・フサヒゲルリカミキリの食草となるユウスゲ等の栽培、昆虫館への提供（233本）
- ・タカネヒカゲの食草となるヒメスゲ等の栽培、飼育への供給準備（370個体）
- ・上記を実践するための栽培圃場の整備および植物園への植栽区画の設置
- ・昆虫館が必要とする食草の供給方法、栽培手法の把握および実践
- ・『白馬五竜高山植物園 絶滅危惧種の域外保全 成果報告会』での報告

